

日本のモダンデザインのパイオニア・杉浦非水の仕事をもっと紹介！

杉浦非水 時代をひらくデザイン

たばこと塩の博物館（東京・墨田区）で

2021年9月11日（土）～11月14日（日）開催

たばこと塩の博物館では、2021年9月11日（土）から11月14日（日）まで、「杉浦非水 時代をひらくデザイン」を開催します。

日本におけるモダンデザインのパイオニアとして知られる杉浦非水（すぎうらひすい／1876～1965年）は愛媛県松山市に生まれました。東京美術学校入学後は円山派の川端玉章に師事して日本画を学んでいましたが、在学中に、フランス帰りの洋画家・黒田清輝がもたらしたアール・ヌーヴォー様式の図案に魅せられたことで、図案家としての道を進むことになりました。

非水は明治41年（1908）に三越呉服店の嘱託となり、その後図案部初代主任をつとめ、昭和9年（1934）に退社するまで足かけ27年にわたって同店のポスターやPR誌表紙などのデザインを一手に担いました。三越以外にも、様々な企業のポスターやたばこの「響」「光」といったパッケージなどを手がけ、非水の単なる「宣伝」の枠を超えた図案家としての幅広い活動から生み出された作品の数々は、現在でいう「グラフィックデザイン」の原点といえます。

本展覧会は4章で構成、非水の故郷にある愛媛県美術館所蔵のコレクションを中心に、ポスター、装丁、雑誌表紙、パッケージデザイン、図案集などの代表作はもちろん、彼の創作の背景を知るためのスケッチ、写真、遺愛の品々もご紹介します。東京美術学校時代の作品から晩年のデザインまで、前後期合わせて約300点を展示し、非水の足跡をたどります。



Photo.01

東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通
昭和2年（1927）愛媛県美術館

展覧会の構成と展示作品は別紙参照

開催概要

名称：「杉浦非水 時代をひらくデザイン」 ヨ ミ：スギウラヒスイ ジダイヲヒラクデザイン

会期：2021年9月11日（土）～11月14日（日）

〔前期：9月11日（土）～10月10日（日）／後期：10月12日（火）～11月14日（日）＊前期・後期で展示替えを行います〕

主催：たばこと塩の博物館、毎日新聞社

協賛：ニューカラー写真印刷株式会社

特別協力：株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館 企画協力：愛媛県美術館

会場：たばこと塩の博物館 2階特別展示室

所在地：東京都墨田区横川 1-16-3（とうきょうスカイツリー駅から徒歩8分）

電話：03-3622-8801 / FAX：03-3622-8807 / URL <https://www.tabashio.jp>

入館料：大人・大学生：100円 / 満65歳以上の方（要証明書）：50円 / 小・中・高校生：50円

開館時間：午前11時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（但し9/20は開館）、9/21（火）

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：爰地（ほろち）由美子

E-mail：horochi@tasmuseum.jp

＊新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、今後も臨時休館などをさせていただきます場合があります。

展覧会の構成

第1章 図案との出会い

元は東京美術学校（現・東京藝術大学）で日本画を学んでいた非水でしたが、黒田清輝がもたらしたアール・ヌーヴォー様式の装飾資料に魅せられて「図案家」としての道を歩み始めます。本章では、非水に影響を与えた黒田や友人らとの交流を紹介するほか、非水の活動の原点である若き日の足跡をたどります。



Photo.02

日本画家写生教室 五月三日

明治30～34年(1897～1901) 愛媛県美術館

第2章 図案の開拓者

1908年に三越呉服店の嘱託となり、その後図案部初代主任として1934年まで27年間にわたって、同店のポスター・PR誌表紙など様々なデザインを一手に担当しました。また、三越以外の企業デザインや多くの装丁・雑誌表紙なども手がけています。本章では、図案家としての地位を固めていく明治後期から大正期にかけての仕事を見ていきます。



Photo.03

「書籍装幀雑誌表紙図案展覧会」会場写真(『非水アルバム帖』より)

撮影: 明治45年(1912) 愛媛県美術館



Photo.04

菊池幽芳著『百合子』上・中・下

大正2年(1913) 愛媛県美術館



Photo.05 三越呉服店 春の新柄陳列会
大正3年(1914) 愛媛県美術館



Photo.06 三越呉服店 新館落成
大正3年(1914) 愛媛県美術館

第3章 自然に学ぶー写生と図案

「図案は自然の教導から出発して個性の匂ひに立脚しなければならぬ」（『非水の図案』巻頭言、1916年）と説いた非水は、独創的な図案は自然を真摯に見つめてこそ生まれるという信念を持ち、終生自然から学び取る態度を崩しませんでした。本章では、非水の創作活動の根幹ともいえる「写生」に注目します。近年注目を集める、非水が撮影した写真や無声フィルムも紹介します。



Photo.07 田口掬丁著『ふたおもて』前
大正4年(1915) 愛媛県美術館



Photo.08 スケッチ(植物)
大正～昭和 愛媛県美術館

第4章 非水が目指したもの、のこしたもの

1922年、46歳にして初めてヨーロッパ進学を果たし、1年ほどの滞在期間中は、フランスを中心にドイツ、イタリアなどを精力的に巡り、ポスター収集などに努めました。帰国後、非水の作風は、それまでの和洋混交の優美なスタイルから、より明快で大胆、シャープなものへと新たに展開します。また、デザインの価値と存在意義の向上を唱えるなど、その言動は教育者の立場へと移行していきました。最後の章では、明治・大正・昭和という3つの時代を生きた、グラフィックデザインのパイオニアが何を目指し、何をのこそうとしたのかに迫ります。



Photo.09 新宿三越落成 十月十日開店
昭和5年(1930) 愛媛県美術館



Photo.10 アフィッシュ 第一年第一号
昭和2年(1927) 愛媛県美術館



Photo.11 『非水創作図案集』
大正15年(1926) 愛媛県美術館



Photo.01 東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通
昭和2年(1927) 愛媛県美術館

非水は、昭和5年（1930）頃から大蔵省専売局の嘱託（デザイナー）となり、大蔵省専売局のデザインワーク全体の指導的立場として活躍しました。本展では、当館が所蔵する、非水が手がけたたばこパッケージやポスターの数々を紹介します。



Photo.12 新製口付 紙巻煙草みのり
昭和5年（1930） たばこと塩の博物館



Photo.13 響
昭和7年（1932）＊商品発売年
たばこと塩の博物館



Photo.14
PALOMA
昭和8年（1933）＊商品発売年
たばこと塩の博物館



Photo.15 Momoyama
昭和9年（1934）＊商品発売年
たばこと塩の博物館



Photo.16
光
昭和11年（1936）＊商品発売年
たばこと塩の博物館



Photo.17
扶桑
昭和13年（1938）＊商品発売年
たばこと塩の博物館

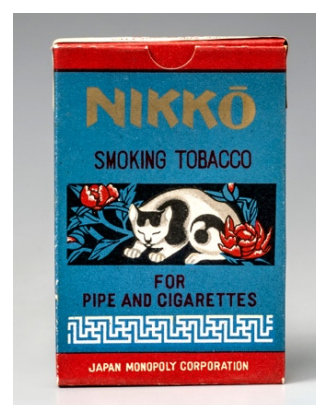


Photo.18
NIKKO
昭和24年（1949）＊商品発売年
たばこと塩の博物館

画像申請シート

（「杉浦非水 時代をひらくデザイン」画像）

たばこと塩の博物館 広報担当 裊地宛

FAX : 03-3622-8807

E-mail : horochi@tsmuseum.jp

「杉浦非水 時代をひらくデザイン」プレスリリースに掲載している画像18点を、広報素材としてご提供します。必要事項をご記入のうえ、FAXかメールでご返送いただければ、ご希望の画像（jpeg）をメールでお送りします。

■広報用画像

チェック欄	画像No	キャプション・クレジット
☐	Photo.01	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通 昭和2年（1927） 愛媛県美術館
☐	Photo.02	日本画家写生教室 五月三日 明治30～34年（1897～1901） 愛媛県美術館
☐	Photo.03	「書籍装幀雑誌表紙図案展覧会」会場写真（『非水アルバム帖』より） 撮影：明治45年（1912） 愛媛県美術館
☐	Photo.04	菊池幽芳著『百合子』上・中・下 大正2年（1913） 愛媛県美術館
☐	Photo.05	三越呉服店 春の新柄陳列会 大正3年（1914） 愛媛県美術館
☐	Photo.06	三越呉服店 新館落成 大正3年（1914） 愛媛県美術館
☐	Photo.07	田口掬丁著『ふたおもて』前 大正4年（1915） 愛媛県美術館
☐	Photo.08	スケッチ（植物） 大正～昭和 愛媛県美術館
☐	Photo.09	新宿三越落成 十月十日開店 昭和5年（1930） 愛媛県美術館
☐	Photo.10	アフィッシュ 第一年第一号 昭和2年（1927） 愛媛県美術館
☐	Photo.11	『非水創作図案集』 大正15年（1926） 愛媛県美術館
☐	Photo.12	新製口付 紙巻煙草みのり 昭和5年（1930） たばこと塩の博物館
☐	Photo.13	響 昭和7年（1932） たばこと塩の博物館
☐	Photo.14	PALOMA 昭和8年（1933） たばこと塩の博物館
☐	Photo.15	Momoyama 昭和9年（1934） たばこと塩の博物館
☐	Photo.16	光 昭和11年（1936） たばこと塩の博物館
☐	Photo.17	扶桑 昭和13年（1938） たばこと塩の博物館
☐	Photo.18	NIKKO 昭和24年（1949） たばこと塩の博物館

* リリースに掲載している作品（Photo.01～18）は、
前期・後期を通じて展示します。

■貴媒体について

貴社名：	ご担当者名：
ご連絡先 TEL： FAX：	e-mail：
媒体名：	掲載予定日（号）：